

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成31年3月7日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490500091		
法人名	たちばな苑福社会		
事業所名	たちばな苑グループホーム		
所在地	広島県呉市倉橋町14948番地		
自己評価作成日	平成31年1月18日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3490500091-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成31年2月19日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

たちばな苑グループホームは広島県の最南端（呉市倉橋町）にあり、温暖で景色の良い自然環境に恵まれたホームです。広い敷地内には特養、デイサービスセンター等が併設され行事、クラブ等と一緒にすることで多くの入所者同士の交流も図っています。又天気の良い日は散歩に出かけ山羊に餌を与えたり四季折々の草花を鑑賞しています。グループホームの隣の畑に野菜を植え収穫し料理する等しています。又地域のお祭り等の行事に参加し交流を図っています。健康管理はかかりつけ医に相談し早期発見・早期治療に努めております。職員は各担当部屋の整理整頓、話し掛け等を行い、ご家族には毎月近況報告を行い一人ひとりに寄り添ったケアに努めています。なお安全面においては二ヶ月に一回防火訓練を実施しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

敷地内に特別養護老人ホームやデイサービスなど複数の事業所が併設となっており、合同での行事やクラブ活動が盛んに行われ、利用者の楽しみやふれあいの場となっている。理事長や苑長の人柄や方針により、喜んでもらえるための配慮が施設の整備や備品、ケアの方針至る所に反映されており、苑がまとまったサービス提供がなされている。個別ケアを重点に置き礼儀を重んじた利用者本位の取り組みが実践されている。理事長が医師であり、協力病院が近郊にあることで毎日の連携や併設の特別養護老人ホームの看護師との連携にて適宜安心して医療が受けられる環境がある。海岸沿いの環境であるが災害についての備も充実している。地域住民の参加や関わり、協力のもとに「共にある生活」が展開されている。意見が言いやすい風土ができており働きやすくやりがいのある職場づくりがなされており、長く勤める職員も多い。

自己評価	外部評価	項目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	引継ぎ時に理念を唱和し、理念に沿ったケアが出来る様心掛けています。	法人の基本としての行動指針を全事業所で統一しており、朝の合同朝礼にて業務目標とともに唱和している。毎月のミーティングに加え、苑長を交えてのミーティングを行い直に方針や考えが共有でき実践に努めている。実践の声かけを行い、できていないことには職員同士で注意し合える関係づくりもできている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	ドライブ、地域の祭り、盆踊り等に参加したり地域の神社へ散歩したりして交流を図っています。	地域の方も苑のことをよく知っており、体育祭にも地域の方の参加や年に1回近隣の企業へ苑の演奏会のバンド出演を依頼し一緒に盛り上げ催しを行っている。昨年の災害時にも災害ボランティアで地域の方の協力を頂いたり、神社などへ散歩にも気軽に声を掛けてもらうなど地元の繋がりが色濃くみられる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	買い物やドライブに出かけたり、施設見学を常時受け入れ、認知症の方々の理解を深めて頂けるよう努力しています。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	取組み等を報告したり、利用者様と一緒に行事を楽しんで頂きアドバイスを受け、質の向上に努めています。	行事や日頃の様子をビデオで流し活動内容がよく伝わる工夫をしている。行政より防災訓練の様子をビデオに録ることの助言を受けたり、民生委員よりグループホームの事例を聞き地域の方に知らせたり、クラブ活動も地域のサロンで取り入れ参考に行っていることなど様々な意見交換が行われている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進会議にご案内し、出席して頂きアドバイスを受けています。又介護認定の更新時には呉市から調査に来られています。	運営推進会議にて毎回、地域で困っている方はいませんかと投げかけることにより協力することの浸透や情報の共有を行っている。市の担当課より事業所の利用空き状況の相談を受けたり、事業所より必要に応じて連絡を取り確認やアドバイスを頂いている。	

自己評価	外部評価	項目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	併設特養の勉強会に参加し、身体拘束の無いケアを心掛けています。玄関の施錠は必要な時のみ時間を決めて行っています。委員会で身体拘束利用者の検討を行っています。	現在、一名不潔行為から介護服着用を行うが使用は夜間のみとし家族への説明や同意、記録、検討会での見直しなど、対応をしっかりと行っている。研修や法人全体を通し「しない、させない」を心がけ、職員も言葉遣いを含め何が拘束にあたるのかを考え、待ってもらった時もきちんと説明し納得を得るなど実践している。	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	外部研修、職員教育、併設特養の勉強会に参加しています。虐待が見過ごされることが無いよう注意し防止に努めています。		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	外部研修、併設特養の勉強会に参加しています。		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	契約時に十分に説明し、質問にはわかりやすく丁寧に対応し、理解・納得をして頂き契約を結んでいます。		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	御家族の面会時に意見を聞き把握に努めています。意見箱を設置し面会の時にご意見をお聞きしながら解決に努めています。	利用者には日々のケアの中で意向を聞いている。家族にアンケートを年2回実施し意見や要望、本人にして欲しいことを伺うことや面会時に随時意向を聞いている。採血の希望や新聞をとること、体重が減っていることで高カロリーのジュースを提供するなど、反映の事例がある。	

自己評価	外部評価	項目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月一回の職員会議、月一回の苑長とのミーティング、職員での毎月のミーティングを行っています。</p>	<p>職員からの意見がよくあがる。パットの見直しや食事形態など、ケアに関することから、休憩時間などの変更などの意見も聞いてもらいやすく、施設や設備にも配慮があることで、理解のある働きやすい職場となっている。勤続年数長い職員も多い。法人の思いであるやりがいある楽しい職場作りがなされている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>業務目標があり達成に向けて主任が指導したり、職員同士でアドバイスしたりして、やりがいのある職場を目指しています。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>法人内外での研修、職員の力量に応じた研修の機会を確保し、法人全体で取り組んでいます。又資格修得の促進にも取り組んでいます。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>研修を通して、同業者との意見交換の機会をもち、課題の見直しをしてケアの質の向上に努めています。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>居宅との連携を密にして、事前訪問し家庭環境を把握し、本人・家族とのコミュニケーションを大切に不安を取り除くようにしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>担当ケアマネージャーから事情を収集し、事前訪問、見学に来て頂き本人の要望と話をよく聞き対応しています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>担当ケアマネージャー、サービス事業所と連携を持ち対応しています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>掃除、食事の準備、片付け、洗濯物たたみ、クラブ、散歩等を一緒に行い本人の出来る事をしてもらい、張りのあるその人に合った支援をします。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>本人、ご家族の話をよく聞き、面会時にはご利用者、ご家族、職員も入り話をよく聞き、お互いの理解を深めています。又行事等には一緒に参加しています。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>併設特養の行事、クラブ参加、地域の行事、買い物、ドライブ等に参加して顔馴染みの人達と交流をしています。又生活環境が変わらないように家庭で使っていた寝具等を使用しています。</p>	<p>家族の協力を得ながら外出や外泊をされる方や併設の事業所に入所している友人に会いに行くこと、クラブ活動でふれあえるなど馴染みの人や場との繋がりを感じられるようにしている。地域の行事に参加や買い物など、いつものお店へ行くことで地域との関係性も構築された支援となっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	ご利用者様の性格、行動を把握し、より良い関係作りに努めています。共同生活の場リビングで食事・おやつ・誕生会・レクリエーション・体操等しながらご利用者様同士の交流を図っています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	季節毎の案内状を出しています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	その人らしさを精一杯引き出すよう生活歴、対話を密にしたり、個別ケアに努めています。暮らしの中から得られる情報をケアにつなげご利用者主体の暮らしを支援しています。	本人との話から思いを把握するとともに、生活歴や家族にも確認したり本人の意向を汲み取っている。個人の意向や趣味に沿い、歌が好きな方には歌詞カードをもてるように、習字や法話などクラブ活動においてできることを個別に行えるように支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	御家族・居宅・サービス事業者と連携を取り、経過等の把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	一人ひとりの日誌に毎日の状況を記録しています。出来る事、出来た事は継続出来るように話し掛けています。		

自己評価	外部評価	項目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人、ご家族、職員、管理者等で話し合い、本人が望む事や残存機能の維持向上を図りながら最良のケアが出来る様に計画をたてています。</p>	<p>日々のケアの中で職員や主任とで気付きや変化について話をしており、毎月のミーティングで職員全員で個別の状況について話し合い常にケアに反映できるようにしている。計画作成時は担当者会議で本人をはじめ家族、職員の意見を交え作成し職員で共有している。毎月のモニタリングで振り返りも行っている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日誌、引継ぎノート、個別記録に記入し、ミーティングを行い検討し計画を見直し実施しています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>併設施設のクラブ、行事に参加しています。生活リハビリ訓練、グループホームでの①、②合同で誕生会、おやつ作り、レクリエーション等ご利用者同士の交流を図り楽しんで頂けるようにしています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>運営推進会議を通じて民生委員の協力を得たり、消防署の立ち合いのもとで二か月に一回防火訓練を行っています。月二回地域のスーパーに行き買い物を楽しんでいます。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>早期発見・早期治療に努め、かかりつけ医の診断を定期的を受け適切な治療を行っています。</p>	<p>理事長が医師であり、併設の特別養護老人ホームに看護師の協力体制があることで適切に医療の対応が行え、協力医院に毎日利用者の様子を報告し医院の看護師がバイタル測定を測りにくるなど安心して医療が受けられる環境がある。歯科など専門医の受診なども職員が対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	かかりつけ医の看護師、緊急の場合も医師、看護師が対応出来るよう支援しています。本人、ご家族の希望を聞き受診の支援を行っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した時は医療機関に情報を提供し、医療機関にお見舞いに行き情報を提供してもらい、退院後のケアに備えています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で行えることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	ご利用者、ご家族にとって最適な終末期ケアが出来る様、かかりつけ医と連携を図りながらご家族、職員と話し合い対応について検討しています。	希望により看取りを行っている。入居前に終末期ケアについての同意書を説明し意向も確認している。状態の変化に応じて、その都度話し合いを重ね、希望を聞きながら行っている。専門病院とも連携を図りできるだけ希望に添える支援がなされている。マニュアルの整備や看取りの研修も実施している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	併設施設の勉強会に参加し、応急処置、初期対応の勉強会をしています。必要に応じて職員を集めて知識、技術の習得に努めています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	7月の豪雨災害で呉市より避難指示があり併設特養へ避難し生活の場が変わりましたが特養の職員の協力を仰ぎ無事避難しました。	海岸付近の立地にて風水害マニュアル、災害時の必要品を揃えるほか、発電機やタンク、防潮堤など実際の災害を想定し検討した備えの施しがある。実際昨年度の豪雨災害では防潮堤など役立ち、併設施設との連携や地域との協力にて対応ができた。災害を教訓にマニュアルを職員室に吊り下げ更なる対策を行っている。	

自己評価	外部評価	項目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	入社時にはプライバシー保護についてオリエンテーションを行っています。ご利用者の尊厳を守るため、生活歴を把握し特に言葉使いに配慮し対応しています。	入室時はノックをすることやお辞儀、ケア中はドアをしっかり閉める、羞恥心への配慮など基本的な部分をしっかり意識した取り組みに努めている。苑全体でも命令言葉は使わないと徹底が図られており、誰が見ても聞いてもおかしくない礼儀を重んじてのケアの実践がなされている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	常にコミュニケーションをもち、ご利用者の言葉を傾聴し思いをしっかりくみ取る。わかりやすく工夫した話し掛けを行い自己決定出来るようにしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ご利用者の性格、行動等を把握しより良い関係作りに努めています。したい事を体調に合わせて個々のペースで出来るように支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	併設施設に来られる美容院に行かれます。日々の身だしなみは出来るだけ本人の希望に沿った衣類を選んで着て頂いています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	年二回の施行調査で好みを把握し献立に生かしています。食事の準備、片付け等出来る人には手伝って頂いています。	3食とも併設の特別養護老人ホーム厨房より届く。年2回嗜好調査とメニューの写真が見れる表を作り利用者が確認しやすく行い、好みや満足度を定期的に確認しメニューに反映させている。行事食は利用者の楽しみであり、おやつ作りや苑の畑で収穫された野菜を使ってコロケを作ったりし、好評を得ている。	

自己評価	外部評価	項目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>体調を崩された時や食欲不振の時にはお好きな物を提供しています。又主食を粥にしたり、副食を刻み等に行っています。定時以外の水分補給の話し掛けや、水分摂取量の少ない方には随時色々な飲み物を提供しています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後歯磨き、うがいを個別に行っています。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄記録をとり、一人ひとりの排泄状況を把握し、トイレの話し掛け誘導を行いながら自立に向けて支援しています。</p>	<p>トイレに座ってもらうことを基本としている。トイレは4カ所あり、そのうち2カ所は車椅子での利用に十分な広さを確保して利用しやすくなっている。個々のペースにて声掛けや誘導を行い、利用者の行きたいしぐさを見逃さないように意識して取り組んでいる。オムツ外しもできるように対応を重ねている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>個々の食事、水分摂取量に注意しながら散歩や体操の話し掛けを行い運動不足解消に努めています。医師の指示により服薬も行っています。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>ご利用者の状況に応じてリフト浴、シャワー浴をするなどしています。入浴日はありますが、ご利用者のペースに合わせて個別に対応しています。</p>	<p>週2回のペースにて午後に入浴を行い、拒否などあれば次にと無理強いせず個人の思いに寄り添い対応している。季節に応じゆず湯や菖蒲湯、花がいっぱいある時期には花を浮かべることもある。開放的で植木が眺められるお風呂は好評である。足浴は好評にて最近頻度を増やして週2回心地よく楽しんでもらっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>一人ひとりの個室を用意し、自 宅から馴染みの布団・寝具等を持 ち込んで頂き自宅に近い環境で 寝て頂けるよう自由にご自分の ペースで過ごして頂いています。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>医師に指示、説明を引継ぎノート に記入して確認しています。症 状の変化等については医師、看 護師と連携をとっています。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>ご利用者の生活歴に応じた習字 、お茶、体操、絵等のクラブに 参加する機会を作る。又洗濯物 たたみ、散歩、園芸、おやつ作 り、動物とのふれあい等好みに 応じて行っています。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。</p>	<p>天気の良い日には散歩を行い季 節の草花等に触れたり、ドライ ブを兼ねた月二回の買い物等に 参加してもらっています。又ご 家族と一緒に外出して頂ける ように働きかけています。</p>	<p>毎日のように散歩を行い、近く の神社や散歩コースを回り季 節の草花に触れたり、飼育して いる山羊を見に行ったりしてい る。ドライブを兼ね買い物へ 行くなど日常の外出がある。年 2回ドライブを企画し桂浜へ行 ったりし、現地で家族と合流し 交流を持った外出となり利用 者、家族ともに楽しみとなっ ている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、 お金を所持したり使えるよう に支援している。</p>	<p>月二回の買い物の時はご自分 で支払いをして頂きます。</p>		

自己評価	外部評価	項目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>公衆電話を設置し、何時でも電話が出来る様にしています。ご家族との連絡ノートを作成し連絡を密にしています。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居心地良い落ち着いた雰囲気でも過ごせるよう自然環境が取り入れられ玄関には季節の花等を植えたり季節感を感じられるよう工夫しています。リビングは日当たりが良く清潔で明るい空間になっています。</p>	<p>2ユニット其々に開放的な造りの空間である。リビングに自販機が置かれているユニットもあり家族が来所時に気軽に購入できたり、廊下の各所に座る場所がありリハビリで歩いて休憩できるほか、季節の飾りにてリビングの雰囲気や季節感を彩り、清潔にする、物を置かないなど快適に過ごせる配慮がなされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>食堂は何時でも気軽に過ごせる自由空間になっています。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入所時には本人の使い慣れた物、大事にされている物等を持参して頂き居心地よく過ごせるようになっています。</p>	<p>ベッド、床頭台、家具調椅子、空調が設置されており広めのクローゼットにて収納にも余裕があることで、衣装を多く持ってくる利用者もいる。使い慣れたものや調度品などは自由に持ち込みができ、事前に家を見て以前の環境をふまえて居室を整備している。居室前には個人の下駄箱の設置もある。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>建物内部はバリアフリーになっており手摺も設置しトイレも随所に設置してトイレ表示もわかりやすく、話し掛けて自立を促し安全に利用出来るようになっています。</p>		

V アウトカム項目() ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 たちばな苑グループホーム

作成日 平成31年3月26日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議の参加者が少なく意見があまり聴けない	参加人数を増やしていきたい。	地元の警察署、女性会長、家族等に参加して頂くようお願いする。	随時
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。